



山前だより

平成28年9月1日
足利市立山前小学校
0284-62-2135

9月号

<かしこく あたたかく たくましく>

発行者 鈴木 一弘

2学期がスタート、子どもたちの成長に期待!

～子どもたちの笑顔と元気な声が学校に戻ってきました～

42日間の長い夏休みも終わり、日焼けし一回り大きくなった子どもたちが、元気な笑顔で学校に戻ってきました。子どもたちが健康で安全な夏休みを過ごすことができましたこと、保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力の賜と深く感謝いたします。

2学期は、転出した子ども2名、転入した子ども3名、626名でスタートします。2学期も、山前の子どものための健やかな育ちのために『共育』を合言葉に、ご支援・ご協力よろしく願いたします。



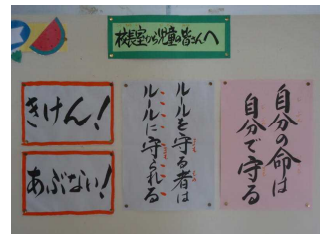
<第2学期始業式のお話から>



皆さんおはようございます。リオデジャネイロオリンピックでは、日本人選手の活躍が毎日放送され、たくさんの感動と勇気をいただきましたね。また、日本人選手でなくとも、力一杯競技する世界のトップアスリートの姿を見て、すごいな・素晴らしいなと校長先生は何度も思いました。皆さんはいかがでしたか? 9/7から始まるパラリンピック(12日間)も楽しみですね。

42日間の夏休みは、いかがでしたか? 楽しかったですか? それぞれ、よかったことあまりよくなかったことなど、いろいろな思い出があると思います。そのたくさんの思い出を、友だちや担任の先生方と、ぜひ、お話をしてみてくださいね。

1学期の終業式に「自分の命は自分で守る」ことを願いました。山前小学校のよい子の皆さんは、そのことをよく守って、テレビや新聞で報道されるような、大きな事件や大きな事故につながるようなことは、1つもありませんでした。校長先生も、皆さんと同じように、楽しく静かなそして充実した夏休みを過ごすことができました。ありがとうございました。



<校長室前掲示板より>

さて、今日から第2学期のスタートです。2学期に皆さんに送る言葉は、「考」、「かんがえる」です。見たり聞いたりしたこと、読書・本で読んだことや授業を通して学んだこと、それから直接体験したことなどをもとに、感情(心)も働かせて、想像したり計画したり、工夫したり新しいことを生み出したりしてみてください。そういうことが「考える」ということになります。自分の頭「脳」をフル回転させて、

「考」、いろいろと考えてみてください。そして、できれば「考えたこと」を、紙にメモしたりまとめて書いたりしてみると良いと思います。きっと皆さんの心が広く深く、そして、たくましくなっていくと思えます。

2学期は、9月ー12月と長い学期です。楽しい行事も待っています。校訓に、「かしこく・あたたかく・たくましく」とありますが、心（頭）も体もいっぱい鍛えて、すばらしい2学期になるよう、一人一人毎日、めあてや目標をもって努力してみてください。よろしくお願いいたします。これで校長先生のお話は終わりです。



<子どもたちが安全な学校生活を送れるように>



9月1日は、防災の日です。『防災の日』は、関東大震災の大きな被害とその教訓を忘れないようにと昭和35年に創設されました。また、昭和57年からは9月1日の防災の日を含む1週間を『防災週間』と定め、各関係機関が様々な行事や訓練などを行っています。

学校でも、『防災の日』の意義や5年前の東日本大震災で私たちが経験したこと、昨年の関東・東北豪雨や今年の熊本地震を教訓に、子どもたちの安全安心な学校生活に向けて、地震をはじめとする災害から身を守るスキルや方法（自分の命は自分で守る）の訓練を続けていきたいと考えています。



<7/23図書館改装作業を行いました！>



- 動物や昆虫などの表示が見やすくなりました！
- 書庫のペンキ塗りをしました。明るく使いやすくなりました！
- 保護者の皆様・先生方、ご協力ありがとうございました！！

<8/24職員作業を行いました！>



<プール清掃>



<モップ等の後片付け>

- 新学期に向けて気持ちよく学校生活を送れるよう、プールの清掃と廊下のワックス塗りを、行いました。
- みんなで「やさしい心で力を合わせだれもが輝く山前小」をつくっていきましょう！！